

令和3年度

経営発達支援事業報告書

景気動向調査

第1四半期 [4月～6月]

業種別DIによる景気判断

<長野県内>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
北 信	↑	改善	↑	改善	↑	改善	↓	悪化

産業全体としては前期より改善している。

サービス業は業種としては飲食業は改善しているが、宿泊業の予約が入らず悪化している。

<全国>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
全 国	↓	悪化	↓	悪化	→	不変	→	不変

産業全体： 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響による経済活動の抑制等、原材料の価格高騰などを影響を受けている。

製造業： 内食向けの産業等一部好調な分野もあるが、原材料の高騰など厳しい状況にある。

建設業： 災害工事の需要及び修繕やリフォーム工事が好調であるが、資材不足や価格の高騰により着工延期や後期の遅れが発生してきている。

小売業： 食料品などは内食向けは堅調であるが、他のものについては外出自粛の影響により需要が減少している。

サービス業： 宿泊業においては予約のキャンセル等多く、飲食業においても自粛傾向が強くなり厳しい状況が続いている。

<参考資料>

・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」・関東財務局「最近の県内経済情勢」・長野県産業労働部「景気動向調査」・長野経済研究所「最近の長野県経済の動向」・日本政策金融公庫「景気動向調査」・長野信用金庫「景気調査レポート」